

富山県医師会長 殿  
富山県郡市医師会長 殿

富山県厚生部長  
(公 印 省 略)

H I V 感染予防薬の配置等について

平素より、本県の感染症対策の推進に多大な御尽力を賜り、厚く御礼申しあげます。  
さて、県では平成 2 8 年 3 月より、医療従事者の針刺し事故等による H I V 感染を予防することを目的として、エイズ治療拠点病院に H I V 感染予防薬を配置しているところ  
です。

今般、配置予防薬にアイセントレス錠 600mg を追加することから、別添『富山県 H I V 感染  
予防薬整備要領』（以下、「要領」という。）を改訂しましたので、お知らせいた  
します。

つきましては、県内の医療機関において針刺し事故等が発生した場合は、要領に基づ  
き下記エイズ治療拠点病院から H I V 感染予防薬の提供を受けることができますので、  
内容をご了知のうえ、貴会員に周知くださいますようお願いいたします。

なお、要領は公的病院へ周知するとともに、県ホームページ  
([http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1205/kj00016337.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1205/kj00016337.html)) にも掲載しております。

記

◎ H I V 感染予防薬の提供を受けることができるエイズ治療拠点病院

H I V 感染予防薬 配置医療機関	H I V 感染予防薬提供窓口		予防服薬後の連絡先 (受診予約)
	8:30~17:15	17:15~翌 8:30	
富山県立中央病院 富山市西長江 2-2-78	薬剤部 076-424-1531(代表)	薬剤部 076-424-1531(代表)	内科(感染症) 076-424-1531(代表)
富山大学附属病院 富山市杉谷 2630	感染症科 076-434-7246	救急外来 076-434-2281	感染症科 076-434-7246

事務担当：健康課感染症・疾病対策班 高木  
電話番号：076-444-4513  
FAX番号：076-444-3496





## 富山県H I V感染予防薬整備要領

### 1. 目的

富山県内の医療従事者が針刺し等によりH I Vに感染した血液等の感染性体液に曝露した場合、緊急措置として、迅速にH I V感染予防薬（以下「予防薬」という。）を入手できるよう、予防薬を配置し、医療機関等におけるH I V感染防止体制の整備を図ることを目的とする。

### 2. 実施主体

この事業の実施主体は富山県とする。

### 3. 対象

富山県内医療機関の医療従事者であって、H I V抗体陽性または陽性が疑われる患者に対する医療行為等によって感染性体液の曝露があった者。

### 4. 配置する予防薬

- (1) 予防薬の種類、量は1医療機関あたり別紙1のとおりとする。
- (2) 予防薬の配置は富山県が行う。

### 5. 配置する医療機関

予防薬を配置する医療機関（以下「予防薬配置医療機関」という。）は、富山県が指定した別紙2の医療機関とする。

### 6. 予防薬配置医療機関の役割

針刺し等が発生し、予防薬の提供の要請を受けた予防薬配置医療機関は、抗H I V治療ガイドライン（最新版）を参考とし、速やかに予防薬を提供する。

### 7. 予防薬配置医療機関における責任者及び緊急連絡体制の整備

予防薬配置医療機関は、院内における責任者及び緊急連絡先を定め、予防薬の提供の要請に迅速に対応できるよう院内の体制を整備する。

また、当該責任者及び緊急連絡先を変更したときは「H I V感染予防薬提供窓口等変更報告書」（様式1）により富山県厚生部健康課（以下「県健康課」という。）まで報告する。

県健康課は「H I V感染予防薬提供窓口連絡先リスト」を県内関係機関（公的病院、医師会、厚生センター等）に周知するものとする。

### 8. 予防薬の提供

- (1) 予防薬の提供は、希望する医療機関（以下「予防薬提供希望医療機関」という。）の医師からの要請に基づくものとする。その際、予防薬提供希望医療機関及び曝露当事者は、「依頼書」（様式2）と「H I V感染予防薬内服同意書」（様式3）、「H I V感染予防薬受領書」（様式4）を記載し、曝露当事者がそれらを持参して予防薬配置医療機関に行き、予防薬及び「H I V感染予防薬受領書」の写し（コピー）の提供を受ける。
- (2) 予防薬は、曝露当事者が専門医を受診できるまでの間の必要最小限（原則、平日は1日分、土日祝日及びその前日は、平日受診ができるまでの日数分とする。）の提供とする。
- (3) 予防薬の提供を受け内服した者で、原因となった患者のH I V抗体検査の結果が陰性となった者以外は、曝露後速やかにエイズ治療拠点病院の専門医を受診し、服薬継続の要否について相談するものとする。なお、受診する際は、予防薬配置医療機関に提出した「H I V感染予防薬受領書」の写し（コピー）を提示する。

9. 予防薬の内服方法

予防薬の内服方法は、別添「H I V曝露（針刺し）後の予防内服マニュアル」によるものとする。

10. 予防薬等の管理

予防薬配置医療機関は「H I V感染予防薬使用管理簿」（様式5）を作成し、予防薬を適切に管理する。予防薬の使用または提供を行った場合は、曝露当事者から提出された「依頼書」（様式2）、「H I V感染予防薬内服同意書」（様式3）及び「H I V感染予防薬受領書」（様式4）を保管するとともに「H I V感染予防薬払出報告書」（様式6）を用いて速やかに県健康課まで報告する。

また、予防薬配置医療機関において、予防薬在庫の不足が予測される場合は、県健康課へ連絡し、指示を受けるものとする。

なお、予防薬配置医療機関は、予防薬の最終払出しを起算日として、H I V感染予防薬受領書を2年間、H I V感染予防薬使用管理簿を3年間保管するものとする。

11. 予防薬の提供を受けた医療機関等の対応

予防薬の提供を受けた医療機関は、予防薬の返納及び費用の負担をする必要がないものとする。

ただし、エイズ治療拠点病院を緊急受診し、血液検査を実施した場合の費用等については、自費扱いとし、エイズ治療拠点病院の請求に基づき、曝露当事者の属する医療機関が支払うものとする。

12. その他

この事業は、「針刺し後のH I V感染防止体制の整備について（平成11年8月30日厚生労働省通知）」に基づき実施する。

附則

この要領は、平成28年3月25日から施行する。

附則

この要領は、平成29年10月25日から施行する。

附則

この要領は、令和2年3月19日から施行する。

## 配置予防薬（キードラッグとバックボーンから1つずつ選択する）

商品名（略名）	包装	配置数	備考
ツルバダ (TDF/FTC)	30錠入（30日分）	1箱	バックボーン
デシコビHT (FTC/TAF)	30錠入（30日分）	1箱	バックボーン
アイセントレス 400mg (RAL)	60錠入（30日分）	1箱	キードラッグ
アイセントレス 600mg (RAL)	60錠入（30日分）	1箱	キードラッグ



## 富山県H I V感染予防薬配置医療機関一覧

令和2年3月19日現在

	医療機関名	住所・連絡先
エイズ治療拠点病院 (中核拠点病院)	富山県立中央病院	〒930-8550 富山市西長江2丁目2番78号 TEL: 076-424-1531
エイズ治療拠点病院	富山大学附属病院	〒930-0194 富山市杉谷 2630番地 TEL: 076-434-2281

[Faint, illegible header text]

[Faint header 1]	[Faint header 2]	[Faint header 3]
[Faint data 1.1]	[Faint data 1.2]	[Faint data 1.3]
[Faint data 2.1]	[Faint data 2.2]	[Faint data 2.3]
[Faint data 3.1]	[Faint data 3.2]	[Faint data 3.3]
[Faint data 4.1]	[Faint data 4.2]	[Faint data 4.3]

[Faint, illegible text block]

[Faint, illegible text block]

年 月 日

富山県厚生部健康課長 殿

## H I V 感染予防薬提供窓口等変更報告書

\_\_\_\_\_ 病院

\_\_\_\_\_ 院長

富山県より配置されたH I V感染予防薬提供窓口の連絡先を下記のとおり変更しましたので報告します。

		変更前	変更後
総括責任者			
診療時間内	時 間		
	窓 口		
	T E L		
	F A X		
診療時間外	時 間		
	窓 口		
	T E L		
	F A X		

### Section 1: Introduction

This document is a placeholder for content that is not visible in the current view.

Item	Description	Quantity

Item	Description	Quantity

## 依 頼 書

予防薬配置医療機関

病院長 殿

この度、当施設の職員が患者の体液に曝露しました。

つきましては、HIV 感染予防のための内服薬の提供をお願いいたします。

なお、血液検査を実施した場合の費用等については、当施設が責任をもって対応します。

職員名		性別	男・女
生年月日	年 月 日	妊娠の有・無 (※女性の方)	有・無
所属部署			
連絡先電話番号			
参考情報	事故発生日時	年 月 日 時 分	
	事故内容	針刺し・切創・粘膜汚染・皮膚汚染	
	原因患者の病状	HIV 抗体陽性・HIV 抗体陽性疑・不明	
	その他		

年 月 日

医療機関の名称：

所在地：

電話番号：

医師署名：



Main body of faint, illegible text, possibly a list or a series of entries, occupying the middle section of the page.

Lower section of faint, illegible text, possibly a continuation of the list or entries, occupying the bottom section of the page.

<取扱注意>

## H I V感染予防薬内服同意書

私は、H I V感染予防薬の内服における利益と不利益について当施設の医師から説明を受け、妊婦の服用は胎児への影響について不明である点を含め、十分に理解しました。

私は、自らの意志により予防内服を希望します。

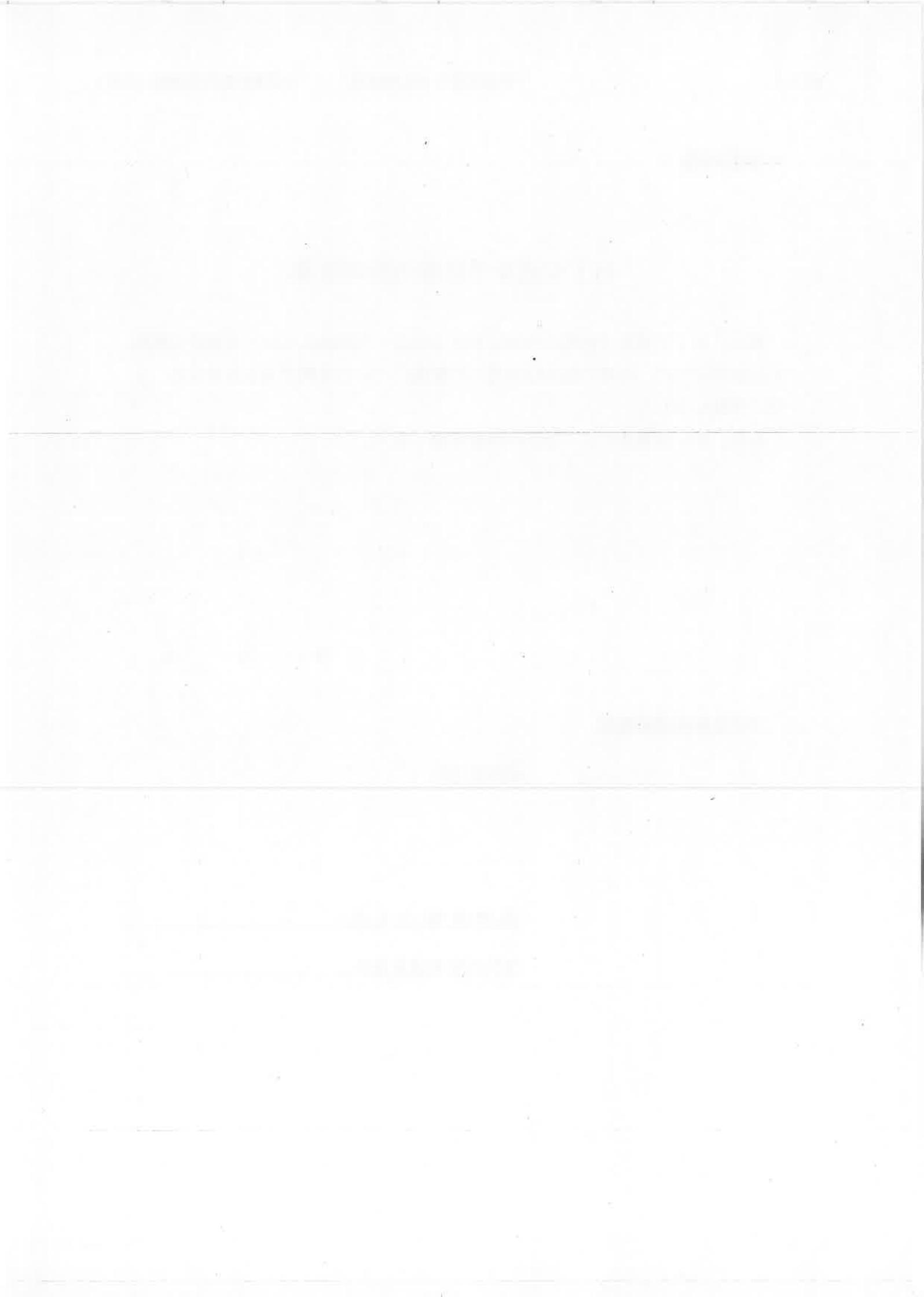
年 月 日

予防薬配置医療機関

病院長 殿

医療機関の名称： \_\_\_\_\_

予防内服希望者署名： \_\_\_\_\_





### Section 1: Introduction

Paragraph 1: This document discusses the importance of maintaining accurate records in a business environment. It outlines the various methods used to collect and analyze data, ensuring that the information is reliable and up-to-date.

Paragraph 2: The data collected is used to identify trends and patterns in the market. This information is crucial for making informed decisions and developing effective strategies. The process involves regular updates and thorough analysis to ensure the data remains relevant.

Category	Item 1	Item 2	Item 3
Group A	Value 1	Value 2	Value 3
Group B	Value 4	Value 5	Value 6
Group C	Value 7	Value 8	Value 9

Conclusion: The data analysis shows a clear upward trend in the market, indicating a positive outlook for the future. Continued monitoring and analysis will be necessary to stay ahead of the competition.

Additional information or notes at the bottom of the page.





年 月 日

富山県厚生部健康課長 殿

### H I V 感染予防薬払出報告書

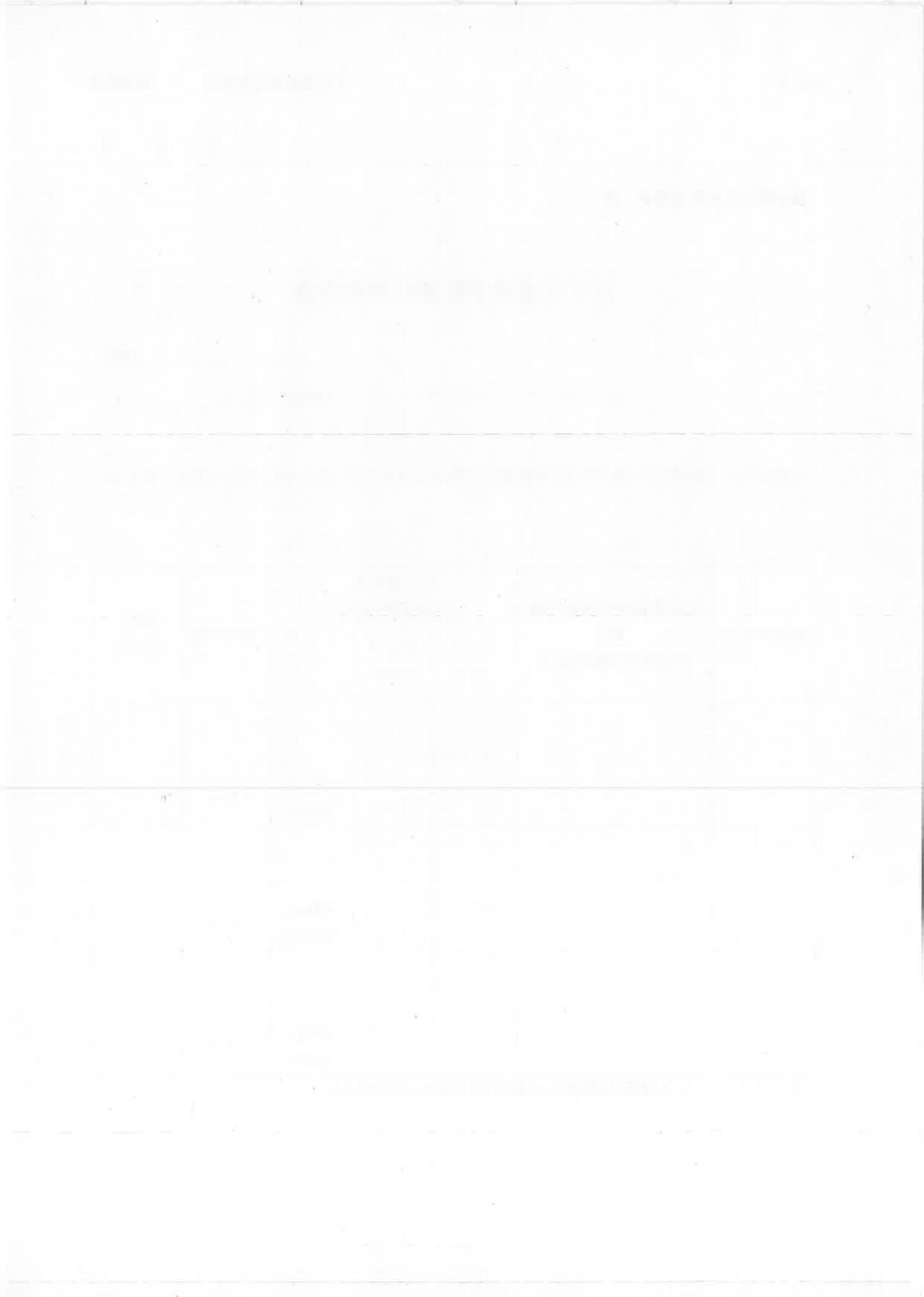
病院

院長

富山県から配置されているH I V感染予防薬を以下のとおり払い出したので報告いたします。

払出年月日	予防薬提供希望医療機関 の名称及び医師氏名	払出薬剤名 払出錠数(合計)			投与日数	払出 担当者
		ツルバ ダ	デシコ ビHT	アイセ ントレ ス		
				400mg 600mg	日分	
				400mg 600mg	日分	
				400mg 600mg	日分	

※アイセントレスは使用薬剤の力価を○で囲んでください。



## 「HIV曝露(針刺し)後の予防内服マニュアル」

HIV曝露発生時の予防内服フローチャートを参照してください。

### (1) 曝露発生

曝露とは、針刺しや鋭利な医療器具による切創等、皮内へのHIV汚染血液の曝露及び粘膜や傷のある皮膚への血液等感染性体液の曝露をさす。

### (2) 応急処置

曝露が発生した場合は、血液又は体液に曝露された創部又は皮膚を流水と石けんによって十分に洗浄する。粘膜への曝露の場合は流水によって十分に洗浄する。

### (3) 医師に報告

曝露当事者は、曝露の発生時刻・状況・程度・曝露の原因となった患者の感染情報を、直ちに院内の医師に報告する。

### (4) 「HIV陽性」及び「陽性が強く疑われる場合」

陽性が強く疑われる場合とは、HIV抗体検査の結果は不明だが、ニューモシスチス(カリニ)肺炎・クリプトコッカス髄膜炎等の症状があり、HIV陽性であることが推定できる場合をさす。

### (5) 妊娠の有無確認

妊娠の有無を確認する。可能な場合は妊娠反応検査を実施する。

### (6) インフォームド・コンセント

医師は、曝露の状況を確認し、「曝露(針刺し)に対する抗HIVウイルス薬予防内服の基準表」に基づき感染リスクが高いと判断した場合は、「内服のための説明書」<sup>(※)</sup>等により、予防内服の意義及び注意点について説明する。曝露当事者は、予防内服の利益と不利益を考慮して、内服を開始するかどうか自己決定する。その際、医師は曝露当事者のプライバシーの保護について十分に留意する必要がある。

なお、院内での感染報告経路については、①内服開始の迅速性、②プライバシーの保護を考慮し、可能な範囲で短縮すべきである。

(※)「内服のための説明書」には代表的な副作用などの使用上の注意のみを記載している。詳細は添付文書を参照する。

## 予防薬提供希望医療機関での対応

### (1) 同意書・依頼書・受領書の作成

曝露当事者が予防内服を希望する場合は、医師の説明を受けた上で「内服のための説明書」を読み、「HIV感染予防薬内服同意書」(様式3)及び「HIV感染予防薬受領書」(様式4)を記載し、署名する。署名は必ず曝露当事者自身が記載する。

医師は、「依頼書」(様式2)を記載し、署名する。

### (2) 予防薬配置医療機関へ電話連絡

予防薬を依頼する場合は、「HIV感染予防薬提供窓口連絡先リスト」に基づき、事前に予防薬配置医療機関の担当者(窓口)に電話連絡する。

### (3) 予防薬配置医療機関に行き予防薬を受領・内服

曝露当事者は、曝露後、できるだけ早く内服を開始するため、速やかに予防薬配置医療機関に行き、「依頼書」(様式2)、「HIV感染予防薬内服同意書」(様式3)お

よび「H I V感染予防薬受領書」（様式4）を提出して、予防薬及び「H I V感染予防薬受領書」の写し（コピー）の提供を受ける。受領後は、直ちに第1回目の内服をする。

#### (4)その他

原因となった患者のH I V抗体検査が未実施の場合は、必ず患者の同意を得た上で、H I V抗体検査（迅速検査など）を実施する。なお、予防薬の提供を受けた者で、原因となった患者のH I V抗体検査の結果が陰性となった者は、服薬継続は不要であるため、残薬については適切に廃棄する。

また、HBV、HCV 及び梅毒の検査・治療等については、予防薬提供希望医療機関で実施する。

### 予防薬配置医療機関での対応

#### (1) 事前準備

電話で緊急の予防内服の依頼を受けた予防薬配置医療機関は、曝露後できるだけ早く1回目の内服が可能となるよう、直ちに予防薬の準備をする。

#### (2) 予防薬提供

予防薬配置医療機関の担当者は、「依頼書」（様式2）、「H I V感染予防薬内服同意書」（様式3）および「H I V感染予防薬受領書」（様式4）を受け取り確認の上、専門医を受診できるまでに必要な最小限の予防薬（原則、平日1日分、土日祝日及びその前日は平日受診ができるまでの日数分とする。）及び「H I V感染予防薬受領書」の写し（コピー）を提供する。

#### (3) 予防薬等の管理

予防薬配置医療機関は「H I V感染予防薬使用管理簿」（様式5）を作成し、予防薬を適切に管理する。予防薬の使用または提供を行った場合は、曝露当事者から提出された「依頼書」（様式2）、「H I V感染予防薬内服同意書」（様式3）及び「H I V感染予防薬受領書」（様式4）を保管するとともに「H I V感染予防薬払出報告書」（様式6）を用いて速やかに県健康課まで報告する。

### エイズ治療拠点病院 専門医の受診

曝露後緊急に予防内服をした曝露当事者で、原因となった患者のH I V抗体検査の結果が陰性となった者以外は、曝露後速やかに専門医を受診して内服継続の要否について相談の上決定し、併せて、H I V抗体検査を受検する。なお、受診する際は、予防薬配置医療機関に提出した「H I V感染予防薬受領書」の写し（コピー）を提示する。

専門医は、必要な期間（6週後、3ヶ月、6ヶ月後）感染の有無についてH I V抗体検査で評価する。

- (1) 医療機関内における医療従事者等の感染予防対策は、各医療機関の責任において実施されるべきものである。したがって、曝露後、エイズ治療拠点病院を緊急受診し、血液検査を実施した場合の費用等については、自費扱いとし、エイズ治療拠点病院の請求に基づき、曝露当事者の属する医療機関が支払うものとする。

- (2) 予防薬の内服については、健康保険の給付の対象ではないが、感染の危険に対し有効であると認められる場合は労災保険の給付対象となる。（平成22年9月9日付け基発0909第1号厚生労働省労働基準局長通知「労災保険におけるHIV感染症の取扱いについて」）

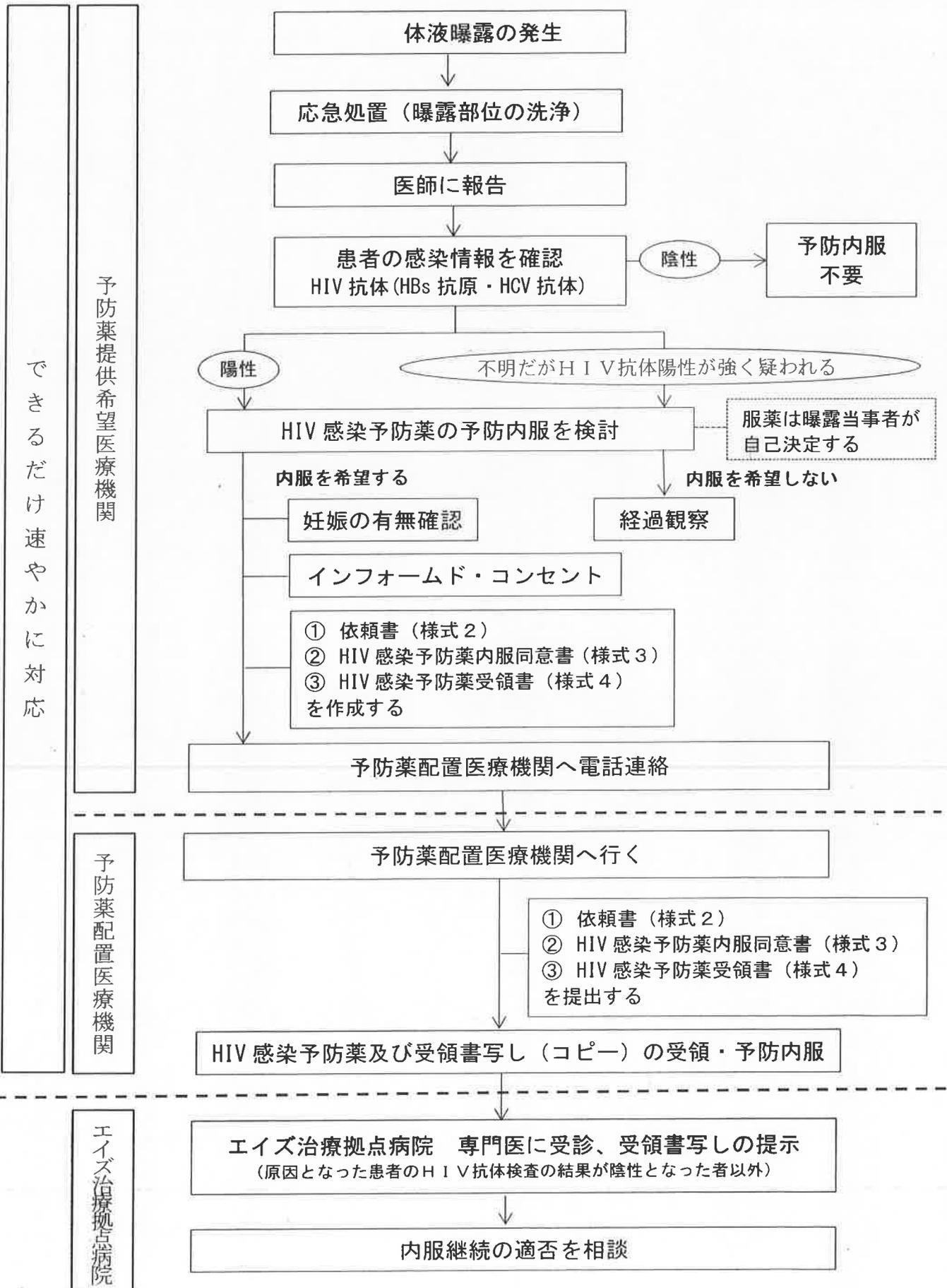
すべての医療機関においては、HIVを含めた院内感染防止対策が求められており、このマニュアルが院内感染対策に替わるものではない。すでに準備されている院内マニュアルがある場合においては、本マニュアルの主旨を踏まえ、必要に応じて院内マニュアルを改正した上で、それに基づき対応して差し支えない。

医療機関においては、院内感染予防対策のHIV感染予防として抗HIV薬を常備しておくことが望ましく、この指針の対応によって、抗HIV薬を常備しないことを勧めるものではない。

1. The first part of the document is a list of names and addresses of the members of the committee. The names are listed in alphabetical order, and the addresses are listed below each name. The list includes names such as Mr. J. B. Smith, Mr. W. H. Jones, and Mr. R. L. Brown.

2. The second part of the document is a list of names and addresses of the members of the committee. The names are listed in alphabetical order, and the addresses are listed below each name. The list includes names such as Mr. J. B. Smith, Mr. W. H. Jones, and Mr. R. L. Brown.

# HIV曝露発生時の予防内服フローチャート(緊急対応用)



DATE	DESCRIPTION	AMOUNT
1/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
2/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
3/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
4/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
5/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
6/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
7/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
8/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
9/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
10/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
11/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
12/1/19	STATE OF CALIFORNIA	100.00
1/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
2/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
3/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
4/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
5/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
6/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
7/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
8/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
9/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
10/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
11/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
12/1/20	STATE OF CALIFORNIA	100.00
1/1/21	STATE OF CALIFORNIA	100.00
2/1/21	STATE OF CALIFORNIA	100.00
3/1/21	STATE OF CALIFORNIA	100.00
4/1/21	STATE OF CALIFORNIA	100.00

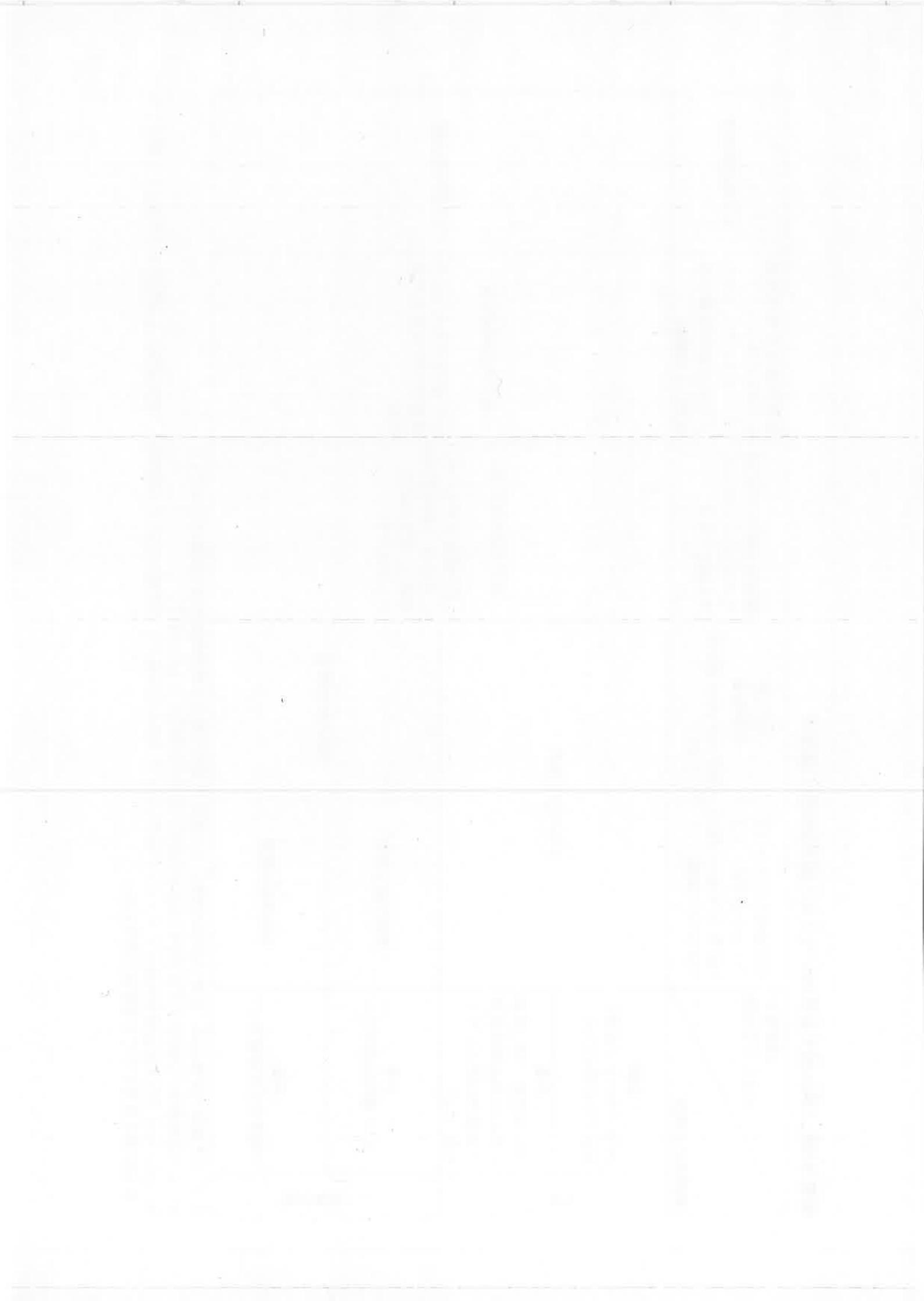
曝露（針刺し）時に対する抗HIVウイルス薬予防内服の基準表

曝露様式と程度	感染源の状況による分類	無症候性HIVキャリアウイルス量が低いとき (血中 HIV-RNA 量が1500 コピー未満)	AIDS 期 初感染期 (血中 HIV-RNA 量が高いとき)	曝露源患者の HIV 感染の状況が不明または未確定のとき	曝露源検体の由来患者が不明のとき (例: バイオハザードボックス内の針や廃棄する血液による曝露)	HIV 陰性の患者
	針刺し	少量 (中空でない針で皮膚の表面だけの穿刺など)	予防内服を推奨	予防内服を推奨	通常予防内服不要	通常予防内服不要
多量 (太い中空針／深い穿刺／明らかな血液の付着／血管内に挿入していた針など)						
注1 皮膚粘膜	少量 (2～3 滴の体液など)	予防内服を考慮	予防内服を推奨			
	多量 (吹き出した体液など)	予防内服を推奨				

注1) この場合の皮膚とは、正常ではない皮膚、すなわち皮膚炎・擦傷・開放創等を伴う皮膚のみをさす。

※ この基準表は「MMWR Vol.54 RR-9 Sep 30, 2005」に基づき作成したものである。

※ 2013年8月の米国公衆衛生局ガイドラインの改訂において予防内服の適応となる場合には「基礎療法」「拡大療法」を区別することなく)3剤以上の抗HIV薬を併用することを推奨されている。



## 内服のための説明書 <ツルバダ、アイセントレス 400mg>

※ 代表的な副作用などの使用上の注意のみを記載しています。(詳細は添付文書参照)

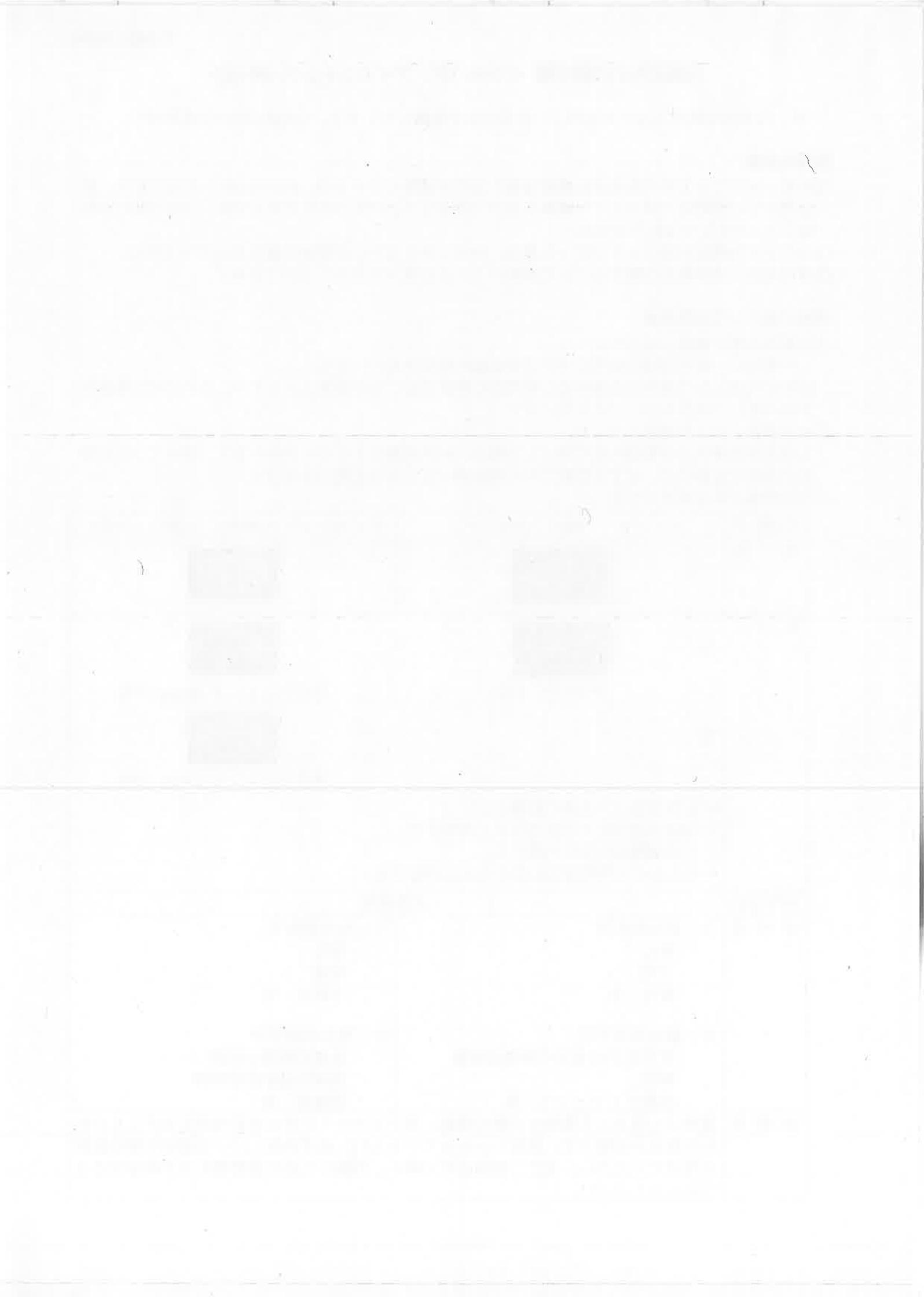
### 内服の意義

- 針刺しなどでH I V汚染血液に曝露された場合の感染のリスクは、0.5～0.3%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じような曝露の場合の感染リスクに比べそれぞれ1/100～1/10と低いですが感染リスクが0%ではありません。
- 今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されていません。
- 感染直後に予防薬を内服することで感染のリスクを低下させることができます。

### 内服に当たっての注意点

- 妊娠の有無を確認しました。  
この薬剤は、妊娠初期の胎児に対する安全性は確立されていません。  
妊娠が明確または疑われる場合は、専門家に相談することが推奨されますが、そのために曝露後予防が遅れてはならないとされています。
- B型肝炎であるか確認しました。  
B型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。従って、この薬剤を服用する前には、必ずB型肝炎の有無を調べてもらう必要があります。
- 予防内服される抗H I V薬

薬剤名	ツルバダ (略名：TDF/FTC)	アイセントレス 400mg (略名：RAL)
剤型		
飲み方	①  ツルバダ 1錠	+  アイセントレス 400mg 1錠
	②  アイセントレス 400mg 1錠	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日2回 (食事の影響なし)</li> <li>• 1回目は①をできるだけ早く内服する。</li> <li>• 12時間後に②を内服する。</li> <li>• その後12時間毎①と②を交互に内服する。</li> </ul>	
保存方法	室温保存	
副作用	1：主な副作用 悪心 下痢 疲労 等  2：重大な副作用 腎不全又は重度の腎機能障害 膵炎 乳酸アシドーシス 等	1：主な副作用 悪心 頭痛 不眠症 等  2：重大な副作用 皮膚粘膜眼症候群 薬剤性過敏症症候群 過敏症 等
注意点	普段よく使われる薬剤や市販の胃薬、サプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。他院にかかっている人は、必ず内服している薬剤を責任医師に見せてください。また、他院に行く時も、内服のための説明書を必ず持参するようにしてください。	



## 内服のための説明書 <ツルバダ、アイセントレス 600 mg>

※ 代表的な副作用などの使用上の注意のみを記載しています。(詳細は添付文書参照)

### 内服の意義

- 針刺しなどでH I V汚染血液に曝露された場合の感染のリスクは、0.5～0.3%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じような曝露の場合の感染リスクに比べそれぞれ1/100～1/10と低いが感染リスクが0%ではありません。
- 今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されていません。
- 感染直後に予防薬を内服することで感染のリスクを低下させることができます。

### 内服に当たっての注意点

- 妊娠の有無を確認しました。

この薬剤は、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する安全性は確立されていません。

妊娠が明確または疑われる場合は、専門家に相談することが推奨されますが、そのために曝露後予防が遅れてはならないとされています。

- B型肝炎であるか確認しました。

B型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。従って、この薬剤を服用する前には、必ずB型肝炎の有無を調べてもらう必要があります。

- 予防内服される抗H I V薬

薬 剤 名	ツルバダ (略名：TDF/FTC)	アイセントレス 600mg (略名：RAL)
剤 型		
飲 み 方	 ツルバダ 1錠	+  アイセントレス 600mg 2錠
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日1回 (食事の影響なし)</li> <li>• 毎日同じ時間に内服する。</li> </ul>	
保存方法	室温保存	
副 作 用	1：主な副作用 悪心 下痢 疲労 等  2：重大な副作用 腎不全又は重度の腎機能障害 膵炎 乳酸アシドーシス 等	1：主な副作用 悪心 頭痛 腹痛 等  2：重大な副作用 皮膚粘膜眼症候群 薬剤性過敏症候群 過敏症 等
注 意 点	普段よく使われる薬剤や市販の胃薬、サプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。他院にかかっている人は、必ず内服している薬剤を責任医師に見せてください。また、他院に行く時も、内服のための説明書を必ず持参するようにしてください。	



## 内服のための説明書 <デシコビHT、アイセントレス 400mg>

※ 代表的な副作用などの使用上の注意のみを記載しています。(詳細は添付文書参照)

### 内服の意義

- 針刺しなどでH I V汚染血液に曝露された場合の感染のリスクは、0.5～0.3%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じような曝露の場合の感染リスクに比べそれぞれ1/100～1/10と低いですが感染リスクが0%ではありません。
- 今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されていません。
- 感染直後に予防薬を内服することで感染のリスクを低下させることができます。

### 内服に当たっての注意点

- 妊娠の有無を確認しました。  
この薬剤は、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する安全性は確立されていません。妊娠が明確または疑われる場合は、専門家に相談することが推奨されますが、そのために曝露後予防が遅れてはならないとされています。
- B型肝炎であるか確認しました。  
B型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。従って、この薬剤を服用する前には、必ずB型肝炎の有無を調べてもらう必要があります。
- 予防内服される抗H I V薬

薬剤名	デシコビHT (略名:TAF/FTC)	アイセントレス 400mg (略名:RAL)
剤型		
飲み方	①  デシコビHT 1錠	+  アイセントレス 400mg 1錠
	②  アイセントレス 400mg 1錠	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日2回 (食事の影響なし)</li> <li>• 1回目は①をできるだけ早く内服する。</li> <li>• 12時間後に②を内服する。</li> <li>• その後12時間毎①と②を交互に内服する。</li> </ul>	
保存方法	室温保存	
副作用	1: 主な副作用 悪心 下痢 疲労 等  2: 重大な副作用 腎不全又は重度の腎機能障害 乳酸アシドーシス 等	1: 主な副作用 悪心 頭痛 不眠症 等  2: 重大な副作用 皮膚粘膜眼症候群 薬剤性過敏症症候群 過敏症 等
注意点	普段よく使われる薬剤や市販の胃薬、サプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。他院にかかっている人は、必ず内服している薬剤を責任医師に見せてください。また、他院に行く時も、内服のための説明書を必ず持参するようにしてください。	

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

PHYS 439

LECTURE NOTES

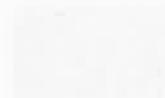
BY

PROF. J. BOYD

1998

PHYSICS DEPARTMENT

UNIVERSITY OF CHICAGO



Topic	Page
1. Introduction	1
2. Kinematics	15
3. Dynamics	35
4. Energy and Momentum	55
5. Rotational Motion	75
6. Oscillations	95
7. Waves	115
8. Relativity	135
9. Quantum Mechanics	155
10. Modern Physics	175

## 内服のための説明書 <デシコビHT、アイセントレス 600mg>

※ 代表的な副作用などの使用上の注意のみを記載しています。(詳細は添付文書参照)

### 内服の意義

- 針刺しなどでH I V汚染血液に曝露された場合の感染のリスクは、0.5~0.3%とされており、B型肝炎やC型肝炎の同じような曝露の場合の感染リスクに比べそれぞれ1/100~1/10と低い感染リスクが0%ではありません。
- 今のところ感染が成立してしまった場合、治癒できるような治療法は確立されていません。
- 感染直後に予防薬を内服することで感染のリスクを低下させることができます。

### 内服に当たっての注意点

- 妊娠の有無を確認しました。  
この薬剤は、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対する安全性は確立されていません。妊娠が明確または疑われる場合は、専門家に相談することが推奨されますが、そのために曝露後予防が遅れてはならないとされています。
- B型肝炎であるか確認しました。  
B型肝炎患者がこの薬剤内服を中止した場合、肝炎が悪化することがあります。従って、この薬剤を服用する前には、必ずB型肝炎の有無を調べてもらう必要があります。
- 予防内服される抗H I V薬

薬剤名	デシコビHT (略名:TAF/FTC)	アイセントレス 600mg (略名:RAL)
剤型		
飲み方	 デシコビHT 1錠	+
		 アイセントレス 600mg 2錠
	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 1日1回 (食事の影響なし)</li> <li>• 毎日同じ時間に内服する。</li> </ul>	
保存方法	室温保存	
副作用	1: 主な副作用 悪心 下痢 疲労 等  2: 重大な副作用 腎不全又は重度の腎機能障害 乳酸アシドーシス 等	1: 主な副作用 悪心 頭痛 腹痛 等  2: 重大な副作用 皮膚粘膜眼症候群 薬剤性過敏症候群 過敏症 等
注意点	普段よく使われる薬剤や市販の胃薬、サプリメントの中に相互作用を有するものがあり注意が必要です。他院にかかっている人は、必ず内服している薬剤を責任医師に見せてください。また、他院に行く時も、内服のための説明書を必ず持参するようにしてください。	

# Annual Report 2023

Our mission is to provide high-quality services to our customers and stakeholders.

Over the past year, we have achieved significant milestones in our business operations. Our revenue has increased by 15% compared to the previous year, and our customer satisfaction scores have reached an all-time high. We have also successfully launched several new products and services, which have been well-received by the market.

Key highlights include:

- Increased market share in our core segments.
- Successful completion of our strategic initiatives.
- Enhanced operational efficiency and cost management.
- Strong financial performance and improved profitability.

Looking ahead, we are confident in our ability to continue our growth trajectory. We will focus on expanding our product portfolio, strengthening our customer relationships, and optimizing our operational processes. Our commitment to innovation and excellence remains unwavering.



Our financial performance remains strong, with a steady increase in revenue and a focus on maintaining healthy profit margins. We have successfully managed our costs and improved our operational efficiency.

Our commitment to sustainability and social responsibility is a core part of our business strategy. We have implemented various initiatives to reduce our carbon footprint, support local communities, and promote diversity and inclusion. These efforts have not only benefited our stakeholders but also enhanced our brand reputation.

As we move forward, we will continue to invest in sustainable practices and social responsibility, ensuring that we are a responsible and ethical organization. Our goal is to create long-term value for all our stakeholders while contributing positively to society.